

ホホバ

頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

今年も早いもので、気がつけば十二月に入り、何かと気忙しい季節となりました。

毎日の忙しさに、つい忘れてしまったりして昔ながらの年末年始の色々な行事が、最近はずづつ行われなくなっているようです。

今年はそのような行事を見直してみませんか。

年末行事は

クリスマスだけ？

毎年、年末が近づいてくると、何かと忙しくなってくるものですね。

この時季は、お仕事やお付き合いの集まりも増え、生活サイクルが乱れて疲れも溜まりやすいもの。

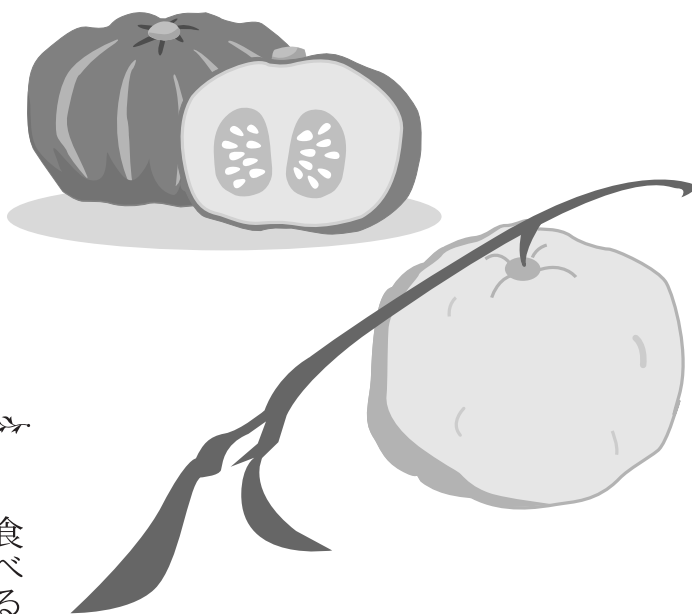
十二月になると、街中はクリスマスの飾りで賑わい、クリスマスが終

わると、もう年末はあと数日。急いで正月の支度をしなくては、となる場合が多い様です。

すす払いは十三日

今年の冬至は二十二日

忙しさに紛れて、つい忘れてしまいがちなのが、すす払いや冬至などの昔ながらの年中行事。



十三日のすす払いは、お仕事等で忙しく、最近では年末の大掃除が恒例という方が大多数となっているようです。

二十二日の冬至には、クリスマスも近い事から、うっかり忘れてしまう方も多く、毎年ゆず湯に浸かって南瓜(かぼちゃ)を食べるとい方は少数派。

ゆず湯は入ったけれどかぼちゃは食べてない、そもそもかぼちゃを食べる習慣はない、という方もいて、年々少なくなっています。こうした年中行事やしきたりを、季節毎にひとつひとつ行うのは、大変ですが楽しい事でもあります。一年の節目となる年末年始は行事が沢山ありますから、無理のない範囲で楽しんで行いましょう。

福を招く!

年末年始の行事やしきたり

年末年始には昔から、新しい年に沢山の福を招き寄せるための習わしが沢山ありました。今では、由来もよくわからないしきたりや、諸説ある事も多い様ですが、昔からの日本の伝統行事、知っておきたいものですね。

◆すす払い

最近では、年の暮れに大掃除をする、という習慣として残っていますが、元々は、すす払いは十二月十三日に行います。

江戸時代には、このすす払いが正月こと始めといって、お正月の準備を始める日でした。

家の中をきれいにして一年の厄 ↓

◆お歳暮

✓ を払い、お正月に歳神様が沢山のご利益を持って降りてくるのを迎えする、という大切な行事でもあったのです。

お歳暮は、本来、お世話になった方にその年一年の感謝を込めて贈り物を届けご挨拶をする、という年中行事でした。 ↓

◆酉の市

✓ 現在では、デパートなどから直接品を送る事が多いようです。

年末の風物詩として、毎年ニュースでは、浅草の酉の市で縁起熊手を買ったお客さんに景気の良い手締めをしている所が取り上げられますが、元々は、関東地方を中心に鷺や鳥にちなんだ寺社の年中行事で、神道と仏教ではそれぞれ由来が異なります。



◆年越し蕎麦

年越し蕎麦は、今でも毎年食べる方の多い年末行事。

無病息災と長寿を願って、細く長く、また、昔のお蕎麦はそば粉だけでつなぎが入っていないものも多く、プツプツ切れる所から、厄を断ち切るという意味もあつたようです。



2020年の世相は？ 子年は繁栄の年！

ねずみ年は「子年」と書きますが、これはねずみが沢山子を産む事から来ています。干支の数え方でも一番最初、子孫繁栄の象徴として縁起の良い子年は、これまでも明るいニュースの多い年です。さて、令和初めての子年は、どんな年に□なるでしょうか。

過去の子年は・・・

- 一九六〇年 池田内閣による所得倍增計画で日本は高度成長期へ。
- 一九七二年 冬季オリンピックが札幌で開催。男女共に平均寿命で日本人が世界一に。
- 一九八四年 アトランタオリンピックで有森裕子がマラソン銅メダル獲得。
- 一九九六年 ノーベル賞を日本人四名が受賞。
- 二〇〇八年

◆除夜の鐘

食べるのは、大晦日の昼や除夜の鐘を聞きながら等、いつ食べても良い様です。

除夜の鐘といえば、大晦日に百八つ、人間の煩惱の数だけ撞く、というのには有名です。

「除夜」とは除日（一年の一番最後の日）の夜の事で大晦日の事。この日に、一年間の煩惱を払い

清めるのが除夜の鐘です。撞く鐘は梵鐘（ぼんしょう）という重要な仏具で、梵（ぼん）とはサンスクリット語で神聖・清浄を表しています。

